

Taizou



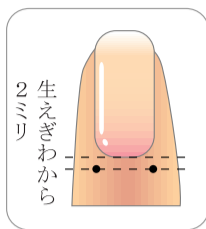
当院、玄関口に設置している龍柱



一口メモ・・・爪もみ

奇跡が起こる爪もみ療法 著:福田 稔 安保 徹より

健康な状態を「頭寒足熱」という言葉で表しますが、この時期特に、手や足先など冷えてしまうという方多いと思います。不健康状態「頭熱足寒」になってませんか？この状態を改善する最も簡単で効果的な方法が、手足の爪の生えざわを刺激する「爪もみ」を行うことです。爪の生えざわには、神経線維が密集しています。爪もみを行うと、その刺激が瞬時に自律神経に伝わり、血行が改善し、「頭寒足熱」状態に近づいていくのです。



● やり方

- ① 爪の生えざわから、2ミリほど指のつけ根側を反対側の手の親指と人さし指で両側からつまみ、押しもみする。厳密な位置にこだわらなくても、刺激は十分に伝わります。両手の5本の指を、10秒ずつ刺激する。
- ② もむときは、ギュッギュッともんでも、ギュッと押し続けてもけっこうです。「少し痛いけど気持ちいい」刺激が得られるようにしましょう。以上、ひとつおとり刺激しても、全部で2分ほどしかかかりません。



※薬指を単独で刺激すると、免疫力を低下させる可能性があります。必ず、ほかの指といっしょに刺激しましょう。

■ スタッフのひとり言 担当:田中 文子

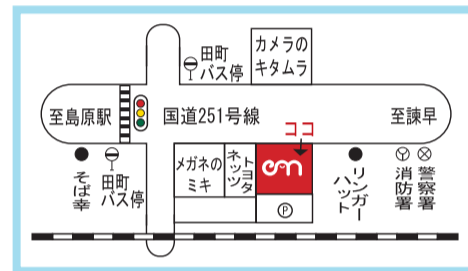
さあ お菓子の家には間違いが10箇所あるんだって？ さがしてみよう！



■ 病院案内

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時30分	●	●	●	●	●	●
午後 14時30分~18時	●	●	●	×	●	×

※日・祭日は休診です。
お昼休みに往診・手術が入る場合があります。
また木曜・土曜の午後などは往診をしています(要予約)



ホームページ&ブログ公開中！
<http://taizou.biz/>
ブログ:たいぞうの部屋
2012.3.12発行

松下ひふ科
長崎県島原市新馬場町852-2
〒855-0033 Tel0957-62-6556
Fax0957-62-6864



今回は長崎県一の文化人『二三男さん』の登場です。東宝時代の経歴は輝かしいものがあります(ブロードウェイから【ピーターパン】をもってくる、新宿のシアターアップルを立ち上げるなど)。

その交友関係は今も続き、しまばら未来塾では、顧問として力を貸してくれ、お友達の栗原小巻さんなどを呼んでくれました。話を聞くと、芸能人、スポーツ選手、作家など有名な方との交友の話がどんどん出てきます。二三男さんとの出会いは、私が開業して間もない頃、高城病院に往診に行った時だったと思います。「先生、ちょっと」と自分の部屋に呼ばれ、病院のビジョンを話されました。今の高城病院の繁栄は、そのビジョン通りです。それ以降も、交友は続き、「先生、ちょっと」と目が点になる(視点が違う)話をよくしてくれます。破天荒な生き方、この人の事を言うのでしょうか。しかし、その文化的な知識、教養は半端ではありません。やはり、本をいつも読んでいます、これではないでしょうか。皆さん、本を読んでいますか？私の周りの成功している人達、皆よく本を読んでいます。寝る前に本を読んで寝る習慣、最高ですよ。

二三男さんが事業成功の話をしたので、私がいつも考え、行っていることを書いてみます。まず、儲けよう、売ろうと思わず、ただ愚直に客の幸せを考える。当然、売れるもの、与えるものに対する知識は最高レベルでなければなりません。接遇、接遇と言われていますが、表面上ではいけません。心からの対応が必要です。スタッフ一人一人が働くことによって自分の使命を見つける。他人よりよく学び、よく働いた人ほど、最終的には成功し、幸せになります。この様なスタッフが多ければ多いほどその事業所は成長します。あと、経営者は、もっと大きく物事を見ること、考えること、島原は、長崎は、日本は、世界は、と大きく考える習慣、これは成功する方法と考えます。私は、究極の目標である“世界平和”のために松下ひふ科は何をすればよいのかを考え日々やっています(笑)。

そして最後に、これは大事なことで、まず経営者が自分を愛し大事にすること、自分を愛せない人が人を愛せるわけがありません。次に家族、次にスタッフ、次にお客様を大事にする。このどこかを逆転させると、痛い目に合います。以上、あくまでも私の考えですがいかがでしょうか？

■ 先生のお友達・・

医療法人ウィング常務理事 高城二三男さん

「事業成功の秘訣」

* ひと・もの・金(資金)の有効利用。

私の前職は東京に本社のある映画・演劇の興行会社に勤務しており、演劇部門を担当していました。46歳で父が開業し、兄が引き継いでいる病院(精神科)の運営担当をし現在に至っています。現在63歳で、もうそろそろ後進の為に経営のコツというものを話してもいいのかなあ、と思いついて今回の松下先生の原稿依頼を引き受けました。

プロデュースするという事は財の有効利用であります。財とは人・もの・金であります。材は材料の材ではなく財産の財であります。もの・金・は財産であると誰でも直ぐ理解しますが、人は労働力と考え財産という意識はなかなか持ちません。ですがこの21世紀では人材は人財なのです。

ともすればマルクス経済論的に資本家と労働者と分けたがるきらいがあるのですが21世紀に入った今日ではこの理論は破産しており従業員はパートナーであるという意識が重要になります。地方の人口減少は急ピッチで進み、ますます中央集権化になると云う識者もいます。そんな中、経営者の意識変革がなければこの地方での生き残りは図れるものではありません。

* 小泉以前と以降では様変わり。

小泉竹中両氏が日本の従来の慣行を大変革しました。これをよく理解出来ずにいる経営者がいまだに多くいます。特に地方に多いのであります。

小泉以前=平等主義

小泉以降=優勝劣敗

小泉以前は医療界におきましてはその収入基準、所謂診療報酬は二年に一度改定されますが過去一度もマイナス改定はありませんでした。しかし小泉政権では歴史上初のマイナスの改定をしました。これは医療界にとっては驚天動地のことであります。小泉政権の「規制緩和」はあらゆる経済分野にも及んで多大なる影響を与えました。金融機関も資金融資の基準を担保重視から財務重視に劇的に変更しました。



それは具体的にはどういうことかという、融資を受けるときの評価がこれまでの資産としての土地建物よりも財務三表、貸借対照表、損益計算書、資金繰り表の評価がより重要視されたということです。ですから私はここ五年間そのように病院の財務体質強化に努めてきました。この変革を感じずに過してきた経営者はなかなか従来のようには銀行が融資しないので戸惑っています。中には会社を畳んでしまった人もいます。

* 資本主義は厳しい。

いま、島原の経済は疲弊している、とよく口に出している経営者がいますが、私はそれは違うのでは？と云います。「エレナ・ダイエー・ナフコ・ドラッグモリ・マック」などは島原以外の会社ではないですか？それらのお店の売り上げは相当なものです。

実は疲弊しているのは島原ではなく島原の経営者達なのです。島原の経営者達もそれなりの努力はしていると思いますが、消費者は厳しく品定めをします。それには店舗のあり方、品揃え等やはり資本力があるほうが勝つのです。それが資本主義の厳しさなのです。ではどうすればいいのか？と問われても私の任務ではないので分かりません。

ここ五年、店舗販売の売り上げを、ネットを始めとした通販が侵食しています。この傾向は今後増加するでしょう。そんな中で地方の販売店はどんな生き残りの方策を採っていくのが重要課題でしょう。

行政は新道路建設や新幹線開設があたかも地域活性化の決め手のように訴えてますが私は意見を異にします。それは、島原に余程魅力がないと、来る人より出る人が多くなると。交通機関の整備は決め手にはなりません。

地域活性は島原を魅力ある街にすることです。ではどうすれば魅力ある街になるのかは、もう還暦も過ぎた私の任ではありません。

若い人が旧にとらわれず徹底討論してみつけて下さい。最後にいいますが、年配には島原は最高の街です。